令和７年小田原市議会３月定例会
建設経済常任委員会資料

資　　料　　名	所　管　課	頁
田代山農道整備事業について	農　政　課	1
農地保全事業（曽我別所地区）について		2
湛水防除事業（鬼柳地区）について		3
小田原漁港機能保全事業　施工箇所図	水 産 海 浜 課	4
路線バス等移動手段確保維持対策事業（地域公共交通確保維持費補助金）について	地 域 交 通 課	5
山王川改修 100 年説明板製作設置事業について	土 木 管 理 課	7

令和７年２月 20 日

田代山農道整備事業について

1　目　的

県道 740 号（小田原湯河原）と広域農道小田原湯河原線を結ぶ田代山農道は、農業利用だけでなく、津波や高波等により、国道 135 号が通行不能になった場合の緊急避難路としての役割を担うことから、拡幅整備を行う。

2　事業概要

農道整備　延長　　35m
　　幅員　　6.5m

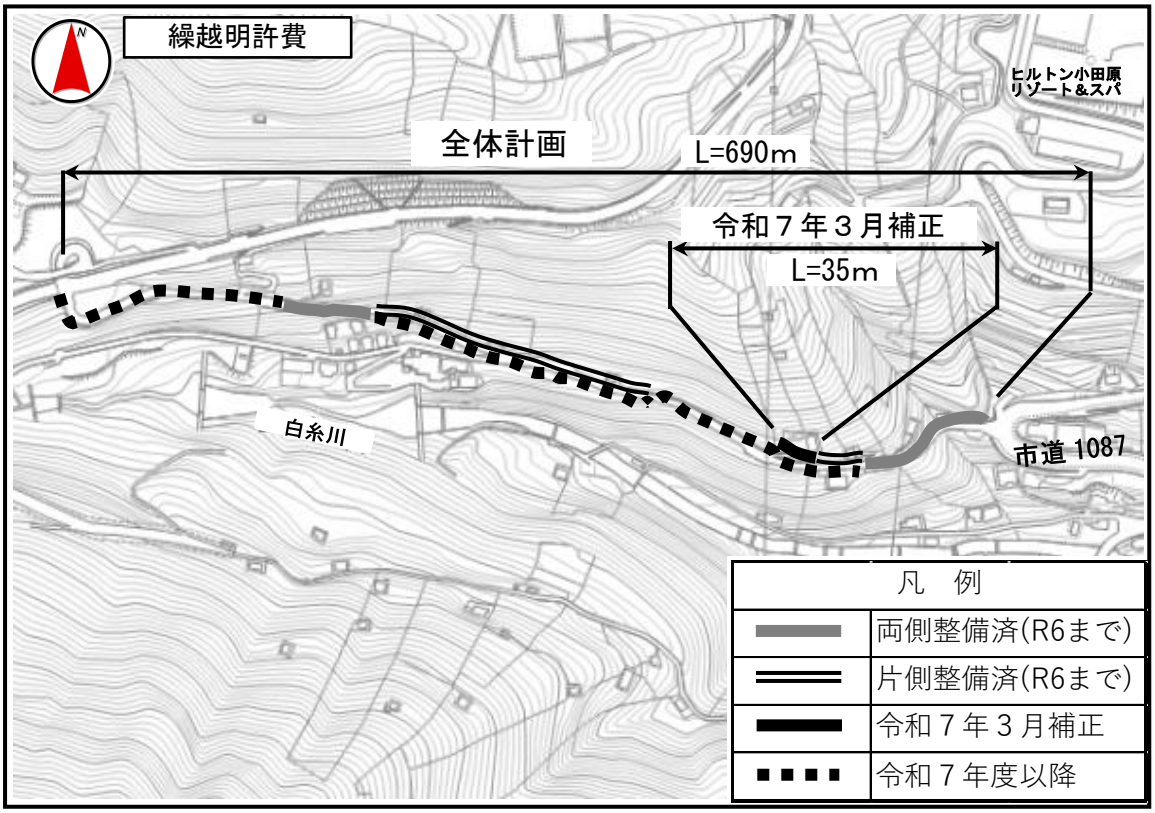
3　事業主体

小田原市

4　財　源

農村地域防災減災事業費補助金（県７/10（国 5/10））、地方債

5　位置図



農地保全事業（曽我別所地区）について

１　目　的

県が実施する老朽化した水兼農道の再整備事業に対し負担金を支出することにより、農地を保全し、農業経営の安定を図る。

２　事業概要

農道整備　延長　　36m
　　幅員　　3.0m

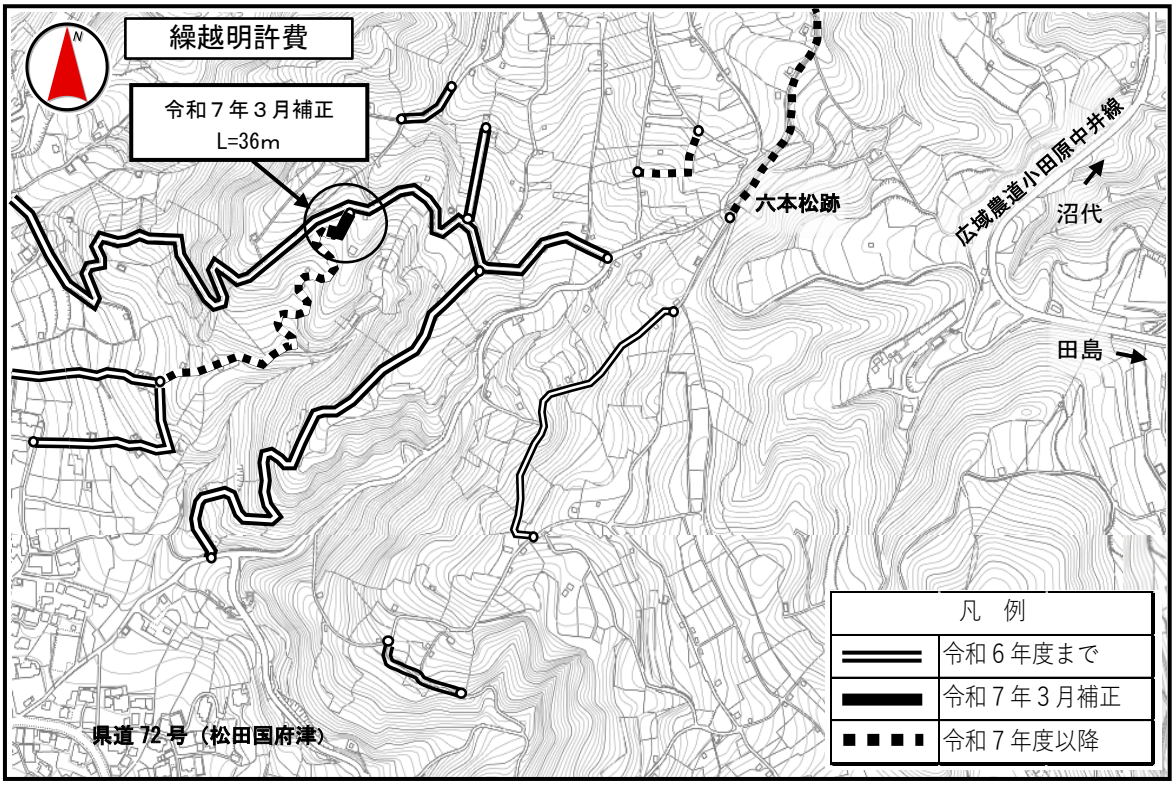
３　事業主体

神奈川県

４　財　源

地方債

５　位置図



湛水防除事業（鬼柳地区）について

１　目　的

県が実施する鬼柳堰の改良事業に対し負担金を支出することにより、湛水被害を防止し、農業経営の安定を図る。

２　事業概要

水路改修　延長　　58ｍ

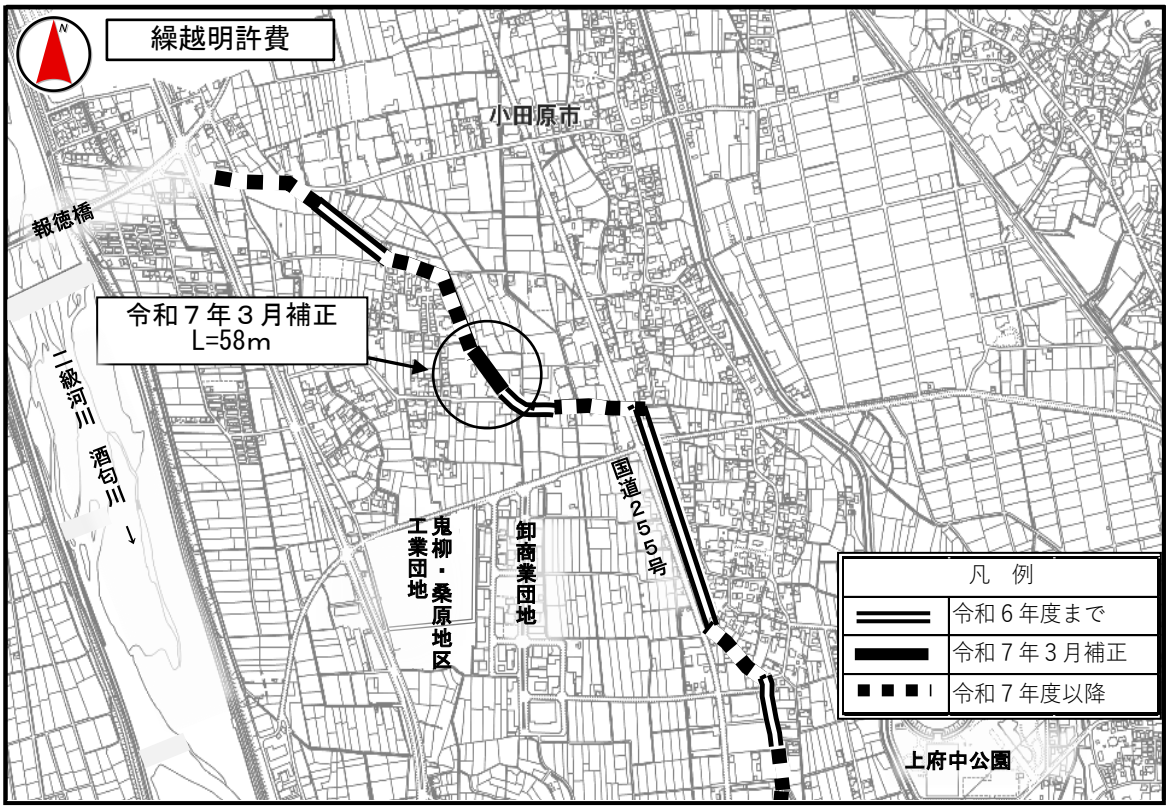
３　事業主体

神奈川県

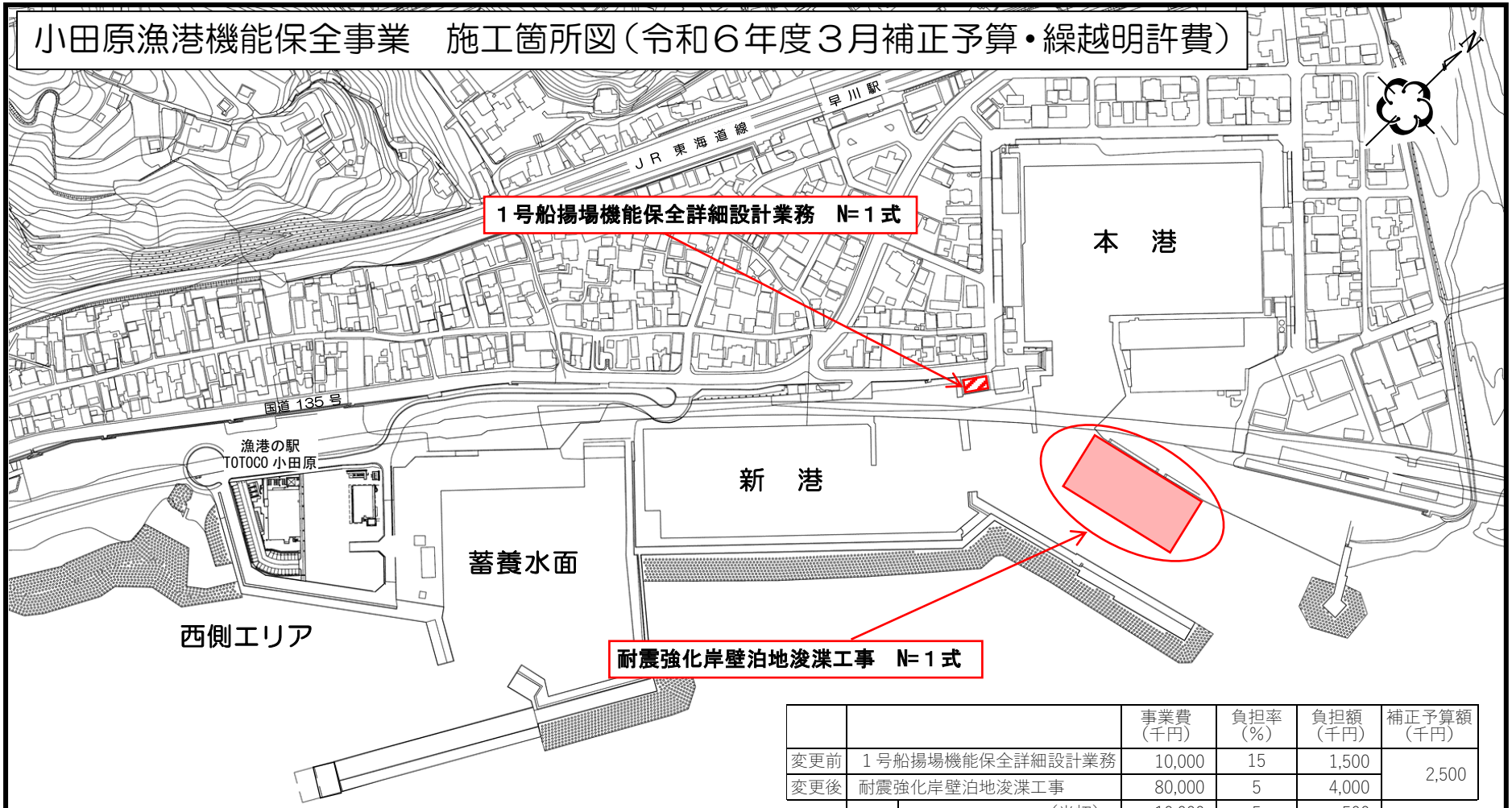
４　財　源

地方債

５　位置図



小田原漁港機能保全事業　施工箇所図（令和６年度３月補正予算・繰越明許費）



		事業費（千円）	負担率（%）	負担額（千円）	補正予算額（千円）
変更前	１号船揚場機能保全詳細設計業務	10,000	15	1,500	2,500
変更後	耐震強化岸壁泊地浚渫工事	80,000	5	4,000	
内訳	（当初）	10,000	5	500	
内訳	（補正）	70,000	5	3,500	

款	項	事業名	翌年度繰越額	左の財源	
				地方債	一般財源
農林水産業費	水産業費	小田原漁港機能保全事業	4,000 千円	3,900 千円	100 千円

路線バス等移動手段確保維持対策事業
（地域公共交通確保維持費補助金）について

1　目　的

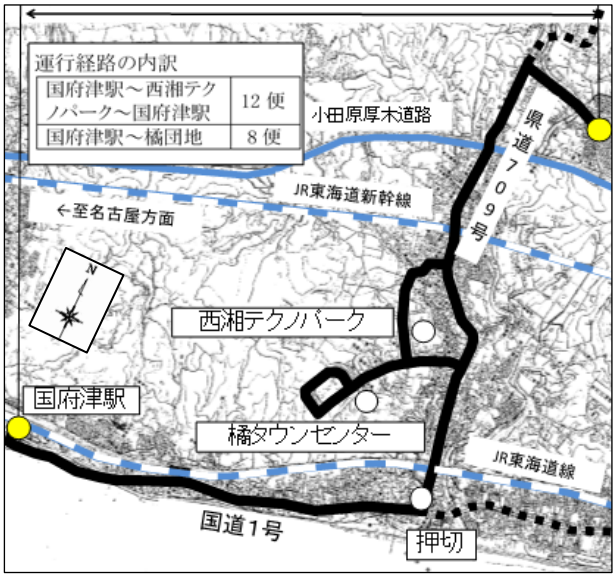
バス事業者が単独で維持することが困難となったバス路線について、国の地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の取り扱いに準じて、市域を継続して運行する路線に対して、運行維持に必要な経費の一部を補助することで、市民生活に欠かせない移動手段を維持・確保する。

2　事業概要

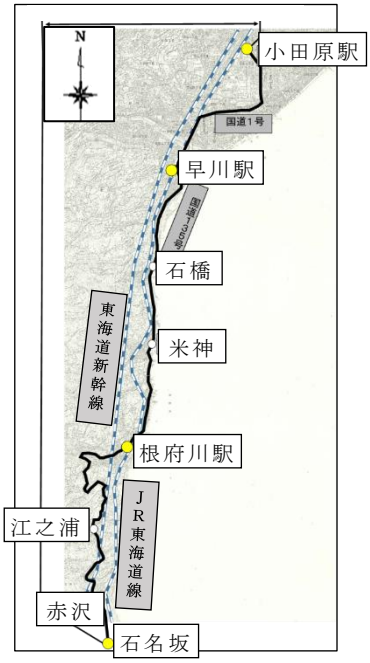
バス事業者から、退出または減回の申出があった路線について、神奈川県生活交通確保対策地域協議会での協議結果に基づき、運行経費と運賃収入との差額を補助する。

3　対象路線

①国府津駅～橘団地（20 便/日）



②小田原駅～石名坂（10 便/日）



４　増額の理由

市が運行経費の一部を補助している２路線について、当初予算では、運行経費（国が定めるブロック単価）から運賃収入を差し引いた収支不足額の２分の１の補助を予定していた。しかしながら、②小田原駅～石名坂線については、令和６年３月 25 日付けで、神奈川県生活交通確保対策地域協議会において、「市が運行収支の赤字額（運行経費は事業者の実単価で算出）を全額補助することにより路線を維持する」という方策を講じることで協議が調った（令和６年６月 18 日開催の建設経済常任委員会で報告済）。

このことから、今年度のこれまでの運行実績の収支より、当初予算額では不足することが見込まれるため、増額するものである。

５　予算額

3,683 千円

内訳　　（単位：千円）

路線／協議結果	運行経費	運賃収入	収支不足額	補助額	当初予算額	不足額
①国府津駅～橘団地 収支不足額の **1/2 を補助**	(17,000・国) 16,760・国	(4,300) 10,950	(12,700) 5,810	(6,400) **2,905**	12,200	**3,683**
②小田原駅～石名坂 (収支不足額の **1/2 を補助**) 収支不足額の**全額を補助**	(14,500・国) 20,287・実	(3,000) 7,309	(11,500) 12,978	(5,800) **12,978**		

※上段(　　)内は当初予算
※運行経費欄の「国」は国単価、「実」は実単価

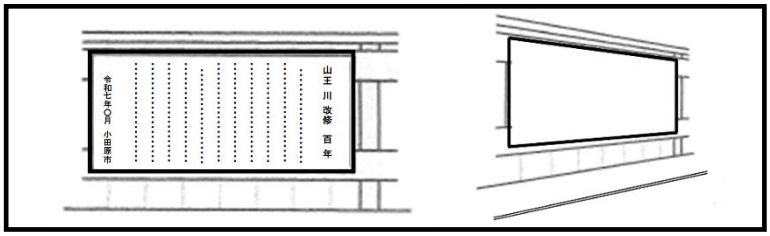
山王川改修 100 年説明板製作設置事業について

1　事業概要

過去、大きく蛇行していた山王川は、大正 14 年（1925 年）に現在の直線的な河川へと改修され、地域のまち並みの礎となった。工事完成から令和 7 年度（2025 年度）で 100 年を迎えることから、改修当時の地元住民の尽力や事業の経緯を残してもらいたいとの趣旨で、令和 6 年（2024 年）11 月に市民から記念事業に向けたご寄附をいただいた。ついては、寄附者のご意向に沿い、説明板を製作し、山王川に架かる市道 2246（竹橋）の高欄に設置する。

なお、早期に発注するが、製作に要す期間を見越し、当該予算を翌年度へ繰り越すものである。

2　設置イメージ図



3　位置図

